

残された資料からたどる飯盛城跡の姿

大東市 産業・文化部生涯学習課
李 聖子

はじめに

大東市・四條畷市は平成 28 年度から 3 か年にわたり共同で飯盛城跡の国史跡指定を目指して総合調査を実施しました。令和 3 年には飯盛城跡の歴史的価値が認められ国史跡に指定されました。史跡指定後も飯盛城跡の保存・活用を見据えて継続して調査を実施しています。飯盛城跡は貴重な歴史遺産ですが、自然環境等を楽しむ場としても親しまれています。そのため、飯盛山では古くから観光のための整備などが行われており、その過程で残された記録があります。

今回の報告会では、最新の調査成果と併せて、撮影された写真や図面等の残された資料から「ちょっと昔」の飯盛城跡の姿をたどります。

1. 石垣測量調査

1) 石垣 69 (写真 1～写真 4)

位 置：Ⅰ郭（高櫓郭）とⅡ郭（高櫓郭）の東側帯曲輪斜面

規模・構造：総延長約 44.2 m・最大高約 3.1 m、使用された石材約 1800 石

構築当時の天端が現存。出隅（隅角部）を有し、石垣の背面には栗石が充填されている

特 徴：石垣を高く積むため、石垣 69 の上に平坦面を設け、2 段目の石垣 1 を積んだ段築状石垣。石垣 69 上の平坦面は帯曲輪として機能した。上段の石垣 1 と比較すると小ぶりの石材を使用。

2) 石垣 6・7 (写真 5～写真 8)

位 置：Ⅲ郭の曲輪 15 西斜面

規模・構造：長さ約 22 m・最大高約 2.5 m、使用された石材約 400 石

構築当時の天端と根石が現存し北側の一部が段築状となっている。裏込めは確認していない。

特 徴：比較的大きな石材が用いられ、間詰石は少ない。

2. 資料からたどる城跡の姿

1) 残された資料

- ・近世資料・・・近世地誌、絵図
- ・飯盛山の開発に関連する資料・・・パンフレット、絵はがき、写真
- ・調査で得られた資料・・・調査記録、写真、縄張り図、測量図面

2) 飯盛城跡の近代開発略史

年代	事柄
大正4年(1915)頃	大阪府立四條畷中学校(現・大阪府立四條畷高等学校)による四條畷神社～IV郭(三本松丸)登山道整備
大正7年(1918)	四條畷中学校2代校長 青木氏の登山300回達成を記念し「登山三百回記念碑」をV郭(御体塚郭)に建立
大正13年(1924)	東宮(後の昭和天皇)御成婚記念事業として四條畷中学校3代校長 牧田氏により「飯盛山史蹟碑」がVII郭に建立される *碑文は郷土史家・平尾兵吾氏によるもの
昭和5年(1930)	東大阪電気鉄道株式会社が飯盛山上遊園地建設
昭和6年～8年(1931～1933)	大阪府による四條畷神社からの登山道整備
昭和12年(1937)	北河内郡小楠公会により楠木正行銅像がI郭(高櫓郭・山頂)に建立
昭和14年(1939)	北河内郡の警防団員の奉仕により国旗掲揚台がI郭(高櫓郭)の小楠公銅像北側に建設される
昭和19年(1944)	戦時下の金属回収のため小楠公銅像が供出される
昭和30年(1955)	日蓮宗寺院妙法寺が楠公寺と改称しX郭(馬場)に移転
昭和33年(1958)	大東市が野崎観音・飯盛山苑地整備計画に着手し展望台をII郭(本郭)に建設
昭和38年(1963)	国定公園整備事業として阪奈道路から分岐し、中の池と桜池を経由する飯盛山までのハイキング道を整備
昭和41年(1966)	国定公園整備事業の第2期工事として野崎観音から飯盛山までのハイキング道(七曲りコース)を整備
昭和46年(1971)	NHK 飯盛山 FM 送信所がVIII郭(千畳敷郭)に建設される
昭和47年(1972)	昭和8年に整備されたハイキング道が昭和47年7月豪雨(大東水害の要因となった豪雨)により崩れ廃道となる
同年	地元住民により楠正行銅像が再建される
昭和53年(1978)	四條畷市により四條畷神社から山麓をたどり御机神社から飯盛山までのハイキング道が整備される
平成元年(1989)	FM802の送信所がNHK 飯盛山FM送信所の西側に建設される
平成13年～15年(2001～2003)	北生駒地域ネットワーク整備のため野崎観音から飯盛山までのハイキング道(七曲りコース)の整備を実施
令和2年(2020)	NHKによるNHK 飯盛山FM送信所のメンテナンス工事

3) 残された資料からわかること(写真13-1～15-2、資料1～3)

- ・飯盛城跡の姿→現在では、所在不明の遺構や開発前の城跡の記録が多く残されており、遺構の詳細を知ることができます。
- ・自然環境の変化→残された写真から植生の変化を知ることができます。

おわりに

近・現代に残された資料からは、断片的ながら飯盛城跡の変遷をうかがうことができます。これらの資料は今後、飯盛城跡の保存や活用のための整備を検討するうえで貴重な資料といえます。

参考文献

大東市教育委員会・四條畷市教育委員会 2020 年『飯盛城跡総合調査報告書』



写真1 石垣 69 全景



写真2 石垣 69 隅角部 (出角)



写真3 石垣 69 石垣天端の状況



写真4 石垣1 (左上) と石垣 69 (右下)



写真5 石垣6・7



写真6 石垣6・7上空から



写真7 石垣6・7 一段目隅角部



写真8 西斜面下の曲輪から石垣6・7を望む



写真9-1 Ⅲ郭からⅡ郭を望む



写真9-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真10-1 石垣69



写真10-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真11-1 石垣94付近



写真11-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真12-1 虎口



写真12-2 飯盛山古写真（大阪府教育委員会提供）



写真 13-1 西山麓より飯盛山を望む、昭和5年頃（大阪府教育委員会提供）



写真 13-2 四條畷学園本館屋上で撮影、昭和10年頃か（四條畷学園提供）



写真 13-3 四條畷学園で撮影、昭和10年頃か（四條畷学園提供）



写真 13-4 四條畷学園短期大学清風学舎屋上から撮影、令和4年



写真 14-1 南西より山頂（I郭）を望む、昭和5年頃（大阪府教育委員会提供）



写真 14-2 四條畷学園短期大学清風学舎屋上から撮影、令和4年



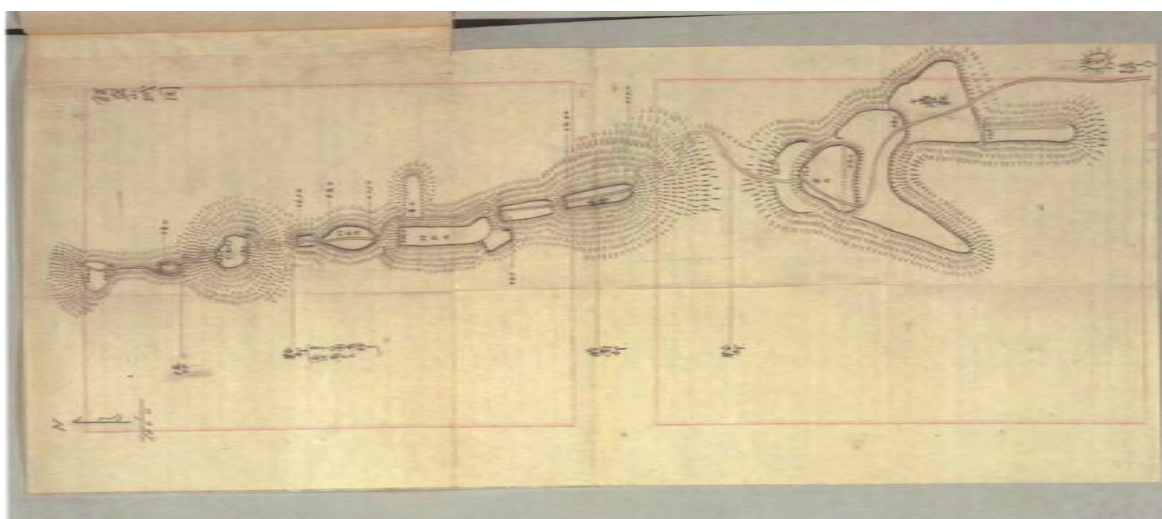
写真 15-1 Ⅲ郭からⅤ郭を望む、昭和5年頃（大阪府教育委員会提供）



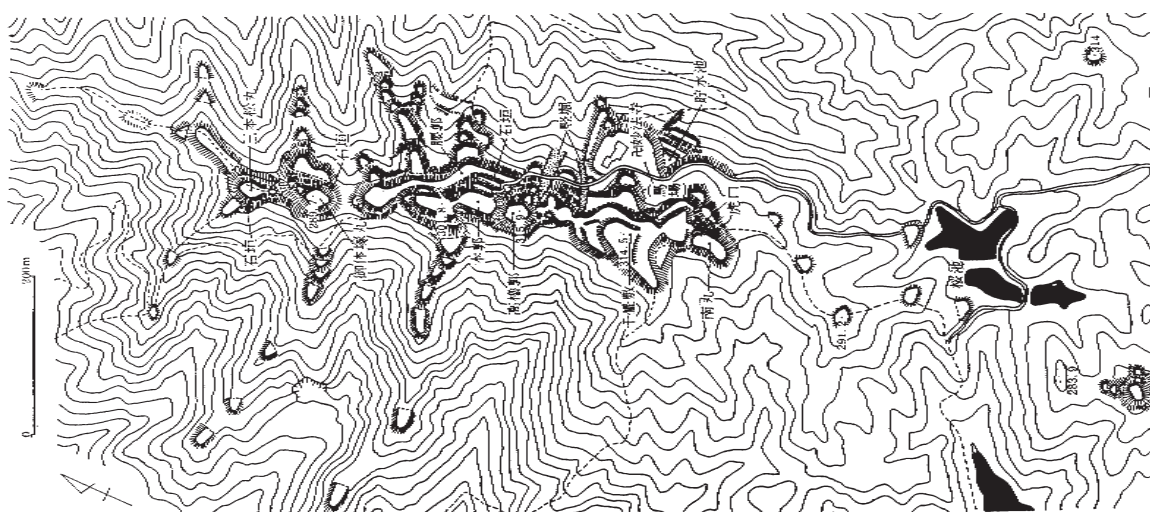
写真 15-2 Ⅲ郭上空からⅣ郭・Ⅴ郭を望む、平成30年頃



資料1 河内国飯盛旧城絵図（「美濃加納永井家史料」東京大学史料編纂所所蔵、『飯盛城跡総合調査報告書』より）



資料2 飯盛山城図（陸軍築城本部編『日本城郭資料』第24冊所収 国立国会図書館所蔵）



資料3 飯盛城跡縄張り図（1981 中井均作図）